

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		010101020200		事業の種類		4	
年度	29	事務事業名	乳幼児等医療費助成事業	予算事業名	乳幼児等医療費助成事業	優先度	3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部市民課				
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	佐原正樹	担当者名	木下卓巳		
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画	への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		乳幼児等医療費助成事業							
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)		乳幼児等医療費助成対象者						
	誰(何)を対象として		乳幼児等医療費助成対象者						
	意図(どのような状態にしたいのか)		乳幼児等(0歳～小学3年)が病気にかかったときなど、安心して病院に受診できるよう、医療費の助成を行う。						
	事業の全体年度		事業着手年度		(年度)	事業完了予定年度		(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要		乳幼児等(0歳～小学3年)の医療費の一部を助成する。21年度以降は市単独事業として、自己負担を無料とする。(20年度までは、0歳～義務教育就学前乳幼児までの自己負担を無料。)					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	助成費	円	66,246,407	65,068,751	66,508,055	68,000,000	
	助成費(市単独分)	円	33,075,582	33,680,635	32,770,130	34,312,300	
	助成件数	件	33,471	35,410	34,651	35,610	
	平均受給者数	人	2,050	2,057	2,041	2,010	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.292	0.396	136	0.383	97	0.385	101	
	臨時職員	0.013	0.013	100	0.013	100	0.012	92	
支出内訳	人件費	2,562,745	3,366,177	131	3,361,348	100	3,435,306	102	
	事業費	66,246,407	65,068,751	98	66,508,055	102	68,000,000	102	
	合計	68,809,152	68,434,928	99	69,869,403	102	71,435,306	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	16,585,412	15,694,058	95	16,868,962	107	18,000,000	107	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	52,223,740	52,740,870	101	53,000,441	100	53,435,306	101	
	合計	68,809,152	68,434,928	99	69,869,403	102	71,435,306	102	

※ 事業の進捗状況

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/平均受給者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14,986	15,853	105.8	16,640	105.0	17,071	102.6	
	実績	16,134	16,374	101.5	16,056	98.1			
指標名2		1件当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/助成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,014	1,197	118.0	988	82.5	964	97.6	
	実績	988	951	96.3	946	99.5			

【効率性】

指標名1		乳幼児等医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	81	85	104.9	91	107.1	96	105.5	
	実績	75	95	126.7	97	102.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	子育て世代が安心して子育てできるよう乳幼児(0歳～小学3年)の医療費の自己負担分の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図ることができた。	5
	市民ニーズ	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、市民の関心が高い。	
有効性	成果目標(改善)達成度	乳幼児等の医療費を無料とすることで、子育て世代の経済的負担の軽減を図った。	5
	市民サービス	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、市民の関心が高く、市民サービスの向上につながった。	
効率性	コストの節減	多様化する乳幼児等保護者の実態に対応するため、職員の業務時間が増加している。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	小学3年までの入院・通院にかかる医療費の無料化を実施している。(所得制限あり。ただし、0歳児は所得制限なし。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	現下の社会情勢の把握に努め、財政事情を踏まえて見直しを検討する必要がある。

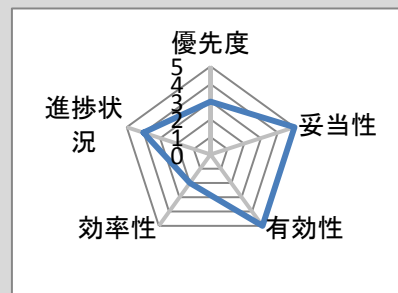
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	現下の社会情勢、財政事情を踏まえ、事業を継続実施する。

(2) 31年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	現下の社会情勢を注視し、かつ財政事情を踏まえて、事業を実施する。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持



配点	32.5
総合評価	24.5